

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
学習指導	①すべての教科、総合的な学習の時間において思考力や探究力を高める授業に取り組む。	教員の取組指標は84.4%で昨年度の74.2%を上回り、目標を達成した。新学習指導要領の理念や大学入学共通テストの方針等が周知され、授業に対する教員の意識が変化してきた結果だと考える。生徒の目標は昨年までの取組指標から成果指標へと変更して調査した。結果は、授業の中で考えたり探究したりする活動ができたと思う生徒が87.3%であり、この項目についても目標数値を上回った。教員の評価と生徒の評価が数字上、ほぼ一致する結果となった。しかし、生徒の成果指標では、「ある程度できるようになった」と答えた生徒が68.0%おり、思考する授業のスタイルが十分に成果を上げているとはいいがたい。教員の取組指標では「ほぼ毎回の授業で取り組んだ」とする数値が昨年度よりも増加している。	対話を通じて探究する、思考するという授業のあり方は継続して研究していく。学校内の授業研究や先達校の視察、研究発表会等への参加に取り組んで、本校の生徒にあった授業のあり方、内容、目標を学校全体で考え、実践していく体制をつくる。特に生徒が主体的に学習に向かうしかけのある授業を追求し、学校全体が学びに向かう組織となることを目指したい。今年度は、近隣の中学校の公開授業に複数名の教員が参加したことが、中高連携を図る上でも有効であった。来年度についても継続して取り組む。また、若手の有志教員を中心に教科横断型の授業づくりが行われ、学校内外に公開することができた。今後もこのような自主的な取組みを支援していく。
	②わかる授業の実践を通して、自分で疑問点を見つけたり、それを授業等を通して解決したりする、生徒の主体的な学習活動を促す。	教員の取組指標は昨年度と変更して取り組んだ。「生徒の主体的な学習を促す授業研究を「十分行った」と答えた教員は昨年度より増加したが、判定結果は71.9%で目標数値を下回った。生徒の成果指標は判定結果が73.2%で昨年度とほぼ同値であった。しかし、回答が全体的に下振れしており、主体的な取組みに課題が残る結果となった。保護者の満足度指標についても判定結果の数値は大きな変化はない。昨年度と比べると「おおむね満足している」とする回答が減少して「十分満足している」「あまり満足していない」とする回答が増加しており、評価が二分する傾向となった。	生徒の主体的な学習を促すことは学校の急務である。新学習指導要領では、基礎的な知識技能の定着と思考力や表現力など発展的な学力の両方を育成することがうたわれているが、それには自主的で主体的な生徒の取組みが不可欠である。学校の授業やその他の教育活動を通じて、どのようにして主体的に学ぶ態度を身につけていくか、そのような仕掛けを学校としてどのように提供していくかを研究していく。県の行う学力向上推進事業や学校独自の授業研究会を通じて実践を重ねていく。
生徒指導	①容儀を整え積極的に挨拶ができるように、全教職員の共通理解を図った上で、継続的な指導に取り組む。	今年度から、「挨拶と容儀」に関して一本化してアンケートを行ったため、従来の成果指数とは比較できないが、教職員100%、生徒は95.5%、保護者は89.7%であり、目標指数を越え満足がいく結果となった。(昨年は、「容儀」に関して、教職員67.7%、生徒は98.5%、保護者は98.7%)。「挨拶」に関して、教職員96.8%、生徒90.3%、保護者は81.3%)容儀検査で指導を受ける生徒数は激減している。一方、積極的に大きな声で挨拶する生徒は、ここ数年間で徐々に減少している。	容儀については、整えることの意義や必要性を説き基準をはっきり伝え、全教職員の共通理解のもと、保護者と連携して継続的に指導する。また、挨拶は良好な人間関係を築く第一歩であることを周知させ、自ら進んで、学校、家庭、地域でも挨拶ができるよう集会等で指導する。毎朝、生徒指導部教諭が生徒玄関で、挨拶指導を行う。
	②生徒の人権意識や規範意識が高まるように指導を行う。	新設の具体的取組であるため、昨年度との比較データはないが、成果指数は教職員100%、生徒85.3%、保護者は89.0%で、目標指数を上回った。しかし、悩んだり困っている友人に対する声かけを「あまりしていない・ほとんどしていない」と答えた生徒が14.7%もいるため対策が必要である。	自他の生命や人権を尊重することは、良好な人間関係を築く第一歩である。そのため、思いやりや助け合いの心を持って行動する態度を育てる必要がある。講演会、月等朝礼、学年集会などの指導を通して、社会の一員として社会に貢献できるように、保護者や地域の人々と連携をとりながら進めていきたい。
進路指導	①自らの進路について考える機会の充実と進路情報の効果的な活用を図り、主体的かつ適切な進路選択を支援する。	教職員や担任の取組指標「進路情報の提供」と「面談等による生徒との意思疎通」は、目標を達成できた。生徒の成果指標「面談やガイダンスを通して得た情報により、進路目標を明確に持つ」は、3年生84.2%、2年生75.5%、1年生72.7%で、1年生しか目標に達成していない。昨年度同学年と比べると1・2年生は7~8%アップしているが、3年生は10%下回っている。しかし、前年次と比べると、現3年生は68%から84.2%と16.2%、現2年生は9.8%上回り学年が上がるに伴って高くなっている。保護者の満足度指標「進路に関する情報の提供」は、昨年度より3.8%下回っているが目標は達成している。進路目標を意識させるために、取組の継続と工夫が必要である。	1・2年次に進路目標を持たせるために、進路希望調査、進路ガイダンスや小論文指導、企業見学、模擬講義と職業講話、就職と公務員ガイダンスなどの進路関係の行事を通して、進路目標や意識を育てたい。運営に関しては生徒の実態に沿うように学年会と連携して行う。
	②模擬試験等を有効活用し、学力向上に努める。	5教科担当者の「模試の事前・事後指導」への取組指標は目標を達成できた。生徒の「模試への過去問演習や復習の取組」への成果指標は63.8%で、目標を6.2%下回った。保護者の「模試結果を見ての子供との話し合い」への満足度指標は79.2%で目標を上回った。取組指標と成果指標の開きを小さくすることが課題である。	生徒が自ら模試の過去問演習や復習に取り組むように、学年会・教科とも連携して意識の向上を図りたい。保護者と生徒は「個票綴り」を介して進路について話し合い、意思疎通の機会となっているので、今後も継続していく。
保健管理	①生徒とともに清掃活動に取り組み、学習環境の美化に努める。	すべての観点で目標指数を上回ることができ、判定結果は昨年度と同水準であった。しかし、資源ゴミ分別に「あまり取り組んでいない」または「取り組んでいない」と回答した生徒が10%程度おり、昨年と比べ良くなっていない。	日々の清掃活動については清掃強化週間も含め、今年度の活動を継続する。ゴミ分別については、年度初めに掃除用具入れやゴミ箱に分別の表示をし直した。さらに注意喚起の回数を増やし、年間を通じて生徒の意識向上につながるよう取り組んでいく。
	②不適応やいじめの早期発見・対応と特別支援が必要な生徒への支援の充実を努める。	生徒と保護者への判断基準を「学校生活での困りごとなどを学校や教師に相談しやすいかどうか」に変更した。「とても相談しやすい」「おおむね相談しやすい」と回答した生徒は63.7%であり、目標指数の70%を下回った。保護者の回答は目標指数を上回った。教職員は昨年と同じ判断基準で判定結果は100%であった。	生徒との関わり、クラス担任・学年会との連携を通して、学校生活への適応に困難さを感じている生徒の早期発見、対応に努める。Q Uの結果から気がかりな生徒への個別対応について検討する。定期的に相談室や保健室の役割について生徒に知らせていく。
図書指導	①図書利用における環境整備に努め、図書館や学級文庫を利用しやすくする。	図書館オリエンテーション、広報誌での図書紹介、アンケートの実施、館内展示やレイアウトの工夫などによる雰囲気づくりを通して、図書館の利用促進に努めた。朝読書については取組指標・成果指標とも目標指数を上回った。図書館や学級文庫については成果指標が昨年より下回った。家庭で子どもが本や新聞に親しむ環境があることに対する保護者の満足度指数は、昨年より上回ったが目標指数は達成していない。家庭での環境整備が必要である。	朝読書については、その意義や効用を引き続き生徒・教職員に周知させるとともに、学級文庫の充実なども図り今後も生徒・教職員が朝読書の時間を共有していく意識を高めていく。図書館便りにクラス別貸出冊数や貸出冊数上位ベストテンを記載したり、学期毎に職員会議でそのまとめを報告したりして、教職員の読書活動への理解と協力を呼びかけていく。図書館オリエンテーションや広報誌、委員会活動を活発化して、幅広く生徒に親しまれる図書館を目指す。また、図書館より生徒一人一人に配布し、家庭においても読書に親しむ機会が増えるようにする。
	②情報機器を利用して、本校の情報を保護者に発信し、連携を深める。	ブログ兼ホームページのレイアウト刷新により、取組指標、成果指標は前年度を上回っている。満足度指標は昨年度に比べて下がり、目標指数を下回った。今後もブログ兼ホームページは迅速に更新することにより、一層の内容の充実を図る。	シンプルで見やすいブログ兼ホームページで、情報発信をおこない、保護者を含めた地域へ本校の取り組みをより一層PRし、本校の諸活動への参加・協力・支援を呼びかけていく。